

他園訪問＜食育活動見学＞ 保育ルームフェリーチェ京成八幡園

7月25日、京成八幡園近隣の市川市小規模保育事業所(定員19名)の保育ルームキューティアイさんの食育活動を見学させていただきました。

お邪魔した時は、「こむぎこねんど」の活動が行われていました。「こむぎこねんど」を決めたのは子どもたちが大好きな絵本との出会いでした、と栄養士の中村さん。日頃から子どもの興味関心をしっかりキャッチしています。

小麦粉に水を足して子どもたちが手でこねます。べたべたした手の感触が嫌で手を洗いたがる子もいましたが、だんだんとまとまっていく生地感触を感じながら、引っ張ったり、ちぎったり、丸めてみたり…各々楽しんでいる姿がありました。

途中でほうれん草、にんじん、カボチャを練りこんだ色のついた「こむぎこねんど」が登場して、子どもたちは香りをかいだり、色の違いを確かめたりして視覚や臭覚もフル回転させていました。

栄養士の中村さんは、食育ではいつも「子どもたちに選ぶ機会を作る」「選択から子どもが個々の活動から展開するのを見逃さず保育士と連携を取って活動を広げていく」と言われていました。食育活動がある程度進むと保育士にバトンタッチして子どもが展開する遊びを保育士が見守ります。

保育士と、栄養士が活動のねらいを理解、共有してしっかりと連携を取っている様子がうかがえました。そしてなにより保育士、栄養士の先生方が子どもたちの成長発達を真剣に考えながら保育を楽しんでいる姿勢がとても素晴らしいと感じました。



導入は大好きな絵本で



水を加えてこねます



べたべたした感触にびっくり



感触、香りを感じながら…



野菜ねんどの紹介

活動後は、それぞれの園の園長先生と栄養士の先生が意見交換をしました。子どもの豊かな食生活のために保育園としてどんな活動ができるのか、子どもたちにどんなことを伝えていくべきかを話し合いとても有意義な時間となりました。